

|            |      |              |                 |           |       |
|------------|------|--------------|-----------------|-----------|-------|
| 施策番号       | 114  | 施策名          | 高齢者福祉の推進        | 令和4年度主管課名 | 総合福祉課 |
| 総合計画<br>体系 | 政策名  | 1            | こころあたたかい福祉の里づくり | 令和4年度課長名  | 安道 智秋 |
|            | 関係課名 | 健康推進課 まちづくり課 |                 | シート作成者    | 小谷 勝彦 |

1. 施策の対象と意図の指標

| ① 施策の対象(誰、何が対象か)    |                      | ③ 対象指標(対象の数・規模)  |   | 単位               | 区分  | 2年度   | 3年度    | 4年度    | 5年度    | 7年度    |
|---------------------|----------------------|--|---|------------------|-----|---|--------|--------|--------|--------|
| ア                   | 65歳以上の高齢者            | →  | ア | 人                | 見込値 |   |        | 4,720  | 4,651  | 4,512  |
|                     |                      |  |   |                  | 実績値 | 4,757   | 4,726  | 4,762  |        |        |
| イ                   | 要介護認定者               | →  | イ | 人                | 見込値 |   |        | 843    | 840    | 819    |
|                     |                      |  |   |                  | 実績値 | 878   | 878    | 919    |        |        |
| ウ                   |                      | →  | ウ |                  | 見込値 |   |        |        |        |        |
|                     |                      |  |   |                  | 実績値 |   |        |        |        |        |
| ② 施策の意図(対象をどうしたいのか) |                      | ④ 成果指標(意図の達成度)   |   | 単位               | 区分  | 2年度   | 3年度    | 4年度    | 5年度    | 7年度    |
| ア                   | 地域で支えあう福祉活動を実践してもらおう | →  | ア | %                | 目標値 | 3   | 2.9    | 2.8    | 2.7    | 2.5    |
|                     |                      |  |   |                  | 実績値 | 2.7   | 4.2    | 3.5    |        |        |
|                     |                      |  |   |                  | 達成率 | 111.1%  | 69.0%  | 80.0%  | 77.1%  | 71.4%  |
| イ                   |                      | →  | イ | %                | 目標値 |   | 83.0   | 83.5   | 84.0   | 85.0   |
|                     |                      |  |   |                  | 実績値 | 82.1  | 81.9   | 78.8   |        |        |
|                     |                      |  |   |                  | 達成率 |   | 98.7%  | 94.4%  | 93.8%  | 92.7%  |
| ウ                   | 住み慣れた地域で安心して暮らしてもらおう | →  | ウ | %                | 目標値 | 40.0  | 31.0   | 32.0   | 33.0   | 35.0   |
|                     |                      |  |   |                  | 実績値 | 44.0  | 36.4   | 37.8   |        |        |
|                     |                      |  |   |                  | 達成率 | 110.0%  | 117.4% | 118.1% | 114.5% | 108.0% |
| エ                   |                      | →  | エ |                  | 目標値 |   |        |        |        |        |
|                     |                      |  |   |                  | 実績値 |   |        |        |        |        |
|                     |                      |  |   |                  | 達成率 |   |        |        |        |        |
| ⑤ 成果指標設定の考え方        |                      | ア 高齢者福祉は生きがいをもって生活していることが原点であるため<br>イ 老人クラブ会員は生きがいをもって生活していると考えられるため<br>ウ 数値が高いということは福祉が充実していると考えられるため |   | ⑥ 成果指標の把握方法と算定式等 |     | ア・ウ 町民アンケート(対象者1,000人中455人が回答)<br>イ 社会福祉協議会調べ |        |        |        |        |

2. 施策の役割分担

| 施策成果向上に向けた住民と行政との役割分担 | ① 住民の役割 (自助・共助・協働でやるべきこと)  | ② 行政の役割 (町・都道府県・国がやるべきこと)  |
|-----------------------|--|--|
|                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者は、自身の自立生活のために積極的に社会参加を行い、様々な機会を通じて健康づくり、介護予防及び介護サービスの適切な利用に努める。</li> <li>社会福祉団体、介護サービスを提供する事業所等は、町と連携し、高齢者の暮らしに役立つ情報提供や啓発活動を行うとともに、安定的なサービスの提供に努める。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>行政は、地域包括支援センターを中心とした関係機関との連携強化、在宅医療と介護との連携や地域ケア会議の推進など地域包括ケアシステムを構築し、サービス内容の周知に努める。</li> <li>高齢者に対し、社会参加の機会を提供し、地域の人とふれあいながら安心して生活できる環境づくりを行う。</li> </ul> |

3. 評価結果

| 4年度<br>の<br>評価結果  | 1. 施策の成果水準とその背景・要因   |   |
|---|--|---|
|   | ① 施策の目標達成度(目標値を達成したか、未達成か? その要因は?)   | <p>3年に及ぶコロナ禍の影響により、生きがいを見いだせない高齢者はコロナ前に比べ、依然として多くなっている。しかし、令和3年度に比べ減っており、地域の活動等により改善していると考えられる。また、適切な高齢者福祉サービスを受けられていると感じる人が増加しており、引き続き、福祉用具の購入・住宅改修等や介護サービスに関する情報提供を積極的に進める。</p> <p><input type="checkbox"/> 目標値を上回る<br/><input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおり<br/><input type="checkbox"/> 目標値を下回る</p> |
| ② 成果指標の時系列比較(成果は向上したか? 低下したか? 要因は?)   | <p>「生きがいの特にない高齢者の割合」は前年度に比べ0.7ポイントではあるが微減した。適切な高齢者福祉サービスを受けられていると感じる町民の割合は、前年度に比べ1.4ポイント増加した。しかし、老人クラブの加入率は3.1ポイント減少しており、地域の活動に制約があったためと考えられる。</p> <p><input type="checkbox"/> 向上した<br/><input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない<br/><input type="checkbox"/> 低下した</p>  |   |
| ③ 他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか、低いのか、その背景・要因は?)  | <p>成果指標は近隣市町村の数値を把握できないため、介護保険認定率(令和4年3月末)による比較を行うと、鏡野町は19.3%で、岡山県の21.9%よりは低く、全国の19.0%に近い比率にある。また、高齢化率(令和4年10月1日「岡山県毎月流動人口調査」)は鏡野町は39.8%で、全国の29.1%、岡山県の31.1%より高く、近隣市町村では美咲町41.9%、真庭市41.0%、より低く、津山市31.8%より高くなっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 高い水準<br/><input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準<br/><input type="checkbox"/> 低い水準</p> |   |
| 2. 施策を取り巻く環境変化(対象の変化、国県の動向、法改正等)と住民からの意見・要望など   |  |   |
| <p>高齢者福祉計画で行った町民アンケートでは、主観的健康感について「まあよい」が68.2%と前回比1.3ポイント増加している。また、地域づくりへの参加意向では、「すでに参加している」が8.5%、「ぜひ参加したい」と「参加してもよい」を合わせた参加意向がある方が57%となっており、女性の方が参加意向の割合が多い。</p>   |  |   |
| 3. 施策の振り返りと総括 (4年度の事務事業や取組の成果は? うまくいかなかった取組・問題点と原因は?)   |  |   |
| ① 施策の成果向上につながった主な事務事業   | 高齢者等タクシー料金助成事業   |   |
| ② 施策の成果向上のため改善を要する主な事務事業  | 第1号通所事業  |   |
| ③ 施策全体の振り返りと総括  |  |   |
| <p>介護予防・日常生活支援総合事業では、「ヘルサポかがみの」の訪問事業を社協を含む4事業所に委託し、「マッスル道場」・「脳トレ」・「生き生きの湯」の通所事業を社協を含む4事業所に委託して実施している。「給食サービス・配達支援」の生活支援事業は、6事業所に委託して実施した。地域包括ケアシステムの確立に向けて、医療・介護連携推進事業及び認知症総合支援事業を継続して実施し、また「すみやすい町づくり会議」を開催、地域個別ケア会議は、毎週水曜日に開催している。</p> <p>さらに、認知症になっても今までの生活を継続できる支援対策として、主に認知症の方やその家族の方を対象に作成したガイドブックを活用し啓発を行っている。</p> |  |   |
| 4. 施策の今後の課題と改革改善の方向(今後、新たに取り組むべきこと、さらに力をいれる必要があることは?)   |  |   |
| ① 今後施策の成果向上につなげる主な事務事業  | 地域包括ケアシステム構築促進事業   |   |
| ② 施策全体の今後の課題と改革改善の方向  |  |   |
| <p>介護予防・日常生活支援総合事業は、利用しやすい制度とするために、社協と協働し、課題の解決に向けて福祉や医療等の社会資源を活用し、協議・検討を行ってきた。今後、委託事業所との連携を密にし、より利用しやすい制度となるよう検討を深める。また、一人ひとりが健康づくりや介護予防に主体的に取り組む、支援が必要な人を互いに支え合う地域づくりのため、地域包括ケアシステムの確立に向けて引き続き取り組む。在宅での生活支援では、家族介護支援、給食サービス、生活用具給付、住宅改修、見守りシステムなどを実施する。□</p>  |  |   |